東京都 I 類 B [行政/一般方式]採用試験 【問題】

- (1)別添の資料から、都が高度な防災都市を実現するために、あなたが重要であると考える課題を 200 字程度 で簡潔に述べよ。
- (2)(1)で述べた課題に対して、都はどのような取組を進めるべきか、あなたの考えを述べよ。

なお、解答に当たっては、解答用紙に(1)、(2)を明記すること。

資料1

首都直下型地震等による東京の被害想定

		東京湾北部地震(M7.3)			
人的被害	死者		約	9, 700	人
		揺れ	約	5, 600	人
		火災	約	4, 100	人
	負傷者		約	147, 600	人
		揺れ	約	129, 900	人
		火災	約	17, 700	人
物的被害	建物被害		約	304, 300	棟
		揺れ	約	116, 200	棟
		火災	約	188, 100	棟
避難者の発生(ピーク:1日後)			約	339 万	人

(設定の条件:冬の夕方18時・風速8m/秒)

出典: 平成24年4月 首都直下地震等による東京の被害想定報告書 (東京都防災会議) より抜粋

資料 2

は「距離が1世が延びる

対策づくりを急ぐべき 国などが時間帯、平日 きるようになってきた。 使してこうした予測もで などが起きかねない。 都心から逃げてくる人の で職場などに向かうと、

万人が帰宅困難者になる

7級の首都直下地震が起

きると、東京都で517

距離が10世紀未満なら、 帰宅意志の法則」だ。 宅を断念する。その中間 fi Xiを超えると全員が帰 で帰ろうとする。 だが20 大半の人が頑張って徒歩 外出先から自宅までの

災害時の人の行動を予測 ら、徒歩で帰ろうとする **でいる。マグニチュード** か、その場にとどまるか。 電車やバスが止まった しようという研究が進ん により、外出中ごんな状

る。そこから導かれ、国況なら帰宅するかを尋ね や自治体の被害想定でよ

さらにアンケートなど 力によっても行動は変わ は「これでは大ざっぱな の安否情報やその人の体 予測しかできない。家族 佛(おざらぎ)俊泰教授 ただ東京工業大学の大

性は外に出るのが怖いの ざとなると体力が不安な 帰宅の意志は強いが、 向も分かってきた。 でその場にとどまる」傾 ので帰宅を諦める」「女 行動予測は企業や学校

が起き、乗った電車が止

まればどうするか。 徒歩

流れに衝突し、将棋倒し

「コンピューターを取

の通勤ラッシュ時に地震

では「40~60代の男性は になった。 安否が不明なことも 大佛教授の独自の調査

出す手立てにもなる。朝 社員の性別や年齢構成か を立てやすくなる。 ら行動を予測すれば計画 待機させ、食料などをど 険なため、職場などで待 災のなかを逃げるのは危 の程度備蓄しておくか。 **機するのが鉄則。 何日問** 2次災害の危険を洗い

出典:平成24年9月30日 日本経済新聞朝刊より抜粋

(中略) も加味し、距離別に帰宅 に東日本大震災での実態

困難者を予測した。

る」とみなす。都はこれ ごとに断念率が1割増え

因